



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 192 2021年8月1日 発行

## 今月の特集

### 家族

『駅のホーム』『大きな写真アルバム』『身体のツボのようなもの』『この世で最も不思議な鎖』『脱衣所』『守護神』『芸術』・・・  
これらは全て「家族とは」という問いの回答です。

近年欧米では「血縁」を定義とする考え方から、知的興味や趣味・価値観などで“家族”という枠組みを設定するという概念にシフトしつつあるそうです。『お盆』という日本古来の伝統行事や終戦記念日を迎える8月。コロナ禍の現在、家族にスポットを当ててみました。

### 『金の角持つ子どもたち』

藤岡 陽子 著 集英社 BFフジ



小6になる俊介が「中学受験のため塾に通いたい」と言い出したところから物語が始まる。家計や諸事情もあり家族は各々葛藤するが、戸田家は彼の夢を応援し未知への挑戦を始める。本気の塾通いは周囲の人々の心にも変化をもたらす。俊介・母・塾の講師である加地、誰もが“家族”に傷を持っていた。

3章からなる物語はそれぞれの章で視点が変わります。自身も中学受験の経験者だと語る著者の取材力は圧巻です。家族の生活、仕事、受験制度、塾の仕組み、講師陣のバックボーンまでもが見事に表現されています。

『私はこの物語で「塾活」に懸ける子どもたちの一途な心と、彼らを支える大人の本気を描きたかった。(中略) 中学受験という息苦しそうな世界にも、胸が熱くなるほど眩い瞬間はいくつもある。その煌めく幾多のシーンを、物語を通して体感していただけたらと思っている。』と著者は語っています。(酒井)





マークデザイン  
加藤昌男

文学の棚から



## 『おばあちゃん、青い自転車で世界に出逢う』

ガブリエル・ローデナス著 小学館 963口

90歳のマルおばあちゃんは自転車で旅に出ます。これまで存在すら知らなかった孫を探して、1日30キロ10日余り、車の助けをまったく借りずに進みます。著者が冒頭で「この旅が、あなたが本当の自分自身を見つける手助けをします。あなたの魂が新たな発見をし、癒されるよう導くのです」と述べているように、この旅は読者の内面への旅となります。

著者はスペイン南東部生まれ、大学で哲学を教える傍ら作家としてサスペンス小説4作を発表し、日本では5作目の本書が初めて翻訳されました。本書の背景となっているテーマは、離れて暮らしている家族です。マルおばあちゃんは人生の環の閉じ方、つなぎ方、自らの人生の受け入れ方を行動で示してくれています。(栗田)

## 『僕らはそれに抵抗できない』

「依存症ビジネス」のつくられかた

アダム・オルター著 ダイヤモンド社 493.74オ

スティーブ・ジョブスをはじめIT界の大物たちは、自分の子どもにはデジタル製品に極力ふれさせないようにしている。著者はこの事実を「自分のさばく商品でハイになるな」という鉄則を持つ薬物の密売人に例えます。

薬物からデジタルまで、依存症を発症する仕組みを説明している本書。デジタル依存症が「スクリーンの向こう側に自制心をくじけさせようとする人間がいる」ことで高い危険性があり、特に現代の子どもたちが無防備であることを指摘し、対処法を提言します。

発症を防ぐ、あるいは回復には現状認識から。「自分は大丈夫」と思う方でも、本書21Pの「インターネット依存症テスト」を試していただくことを強くおすすめします。(西澤)

一般書の棚から



郷土資料の棚から



「丹波篠山 デカンショ祭」  
デカンショ祭実行委員会 著  
(郷土) E4/00/テ

### 【たんばささやま「まめ」知識】

このコーナーでは、丹波篠山にまつわる本を紹介します。

本書はデカンショ祭50回を記念して2004年に発行されました。昭和28年(1953年)第一回・誕生から50回(2002年)までのデカンショ祭の歴史が年表・新聞記事・写真・エピソードを中心に集約されています。丹波篠山の名を全国に轟かせる基礎となった「デカンショ祭」。今や、丹波篠山を代表するブランドのひとつです。

2015年には『丹波篠山デカンショ節 民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶』という文化・伝統を伝える「ストーリー」として、日本第一号となる日本遺産に認定されています。(酒井)

# Y onde M ite

よ ん で み て

『Yonde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『小島』  
小山田 浩子 著 Fオヤ  
2021.04 出版



作者の意識の流れを感じてください。平凡な日常、傍らの景色なのです。

ペンネーム 穂高 隆

『絶叫』  
はまなか あき 著 Fハマ  
2014.10 出版



作者の意図に途中で気づいても主人公と思われる犯人に肩入れしてしまう。「逃げて・・・」

ペンネーム みみにゃん

『風は山から吹いている』  
ぬかが みお 著 Fヌカ  
2021.5 出版



恩人の滑落死の真相はいかに。山の上で語られる登場人物の本音に後半引き込まれる。

ペンネーム K.K

『屋根の上のおばあちゃん』  
藤田 芳康 著 Fフジ  
2021.04 出版



京都の祖母宅で見つけた古いアルバム。サイレント映画の弁士だった祖父と祖母の出会いと青春。ラストが心に染みる。

ペンネーム NaGiSa

『虫は人の鏡』  
養老 孟司 著 486.1ヨ  
2020.12 出版



おなじみの養老先生の虫談義。変な虫でもきれいな写真がいっぱい。虫嫌いの人でも楽しい？

ペンネーム 穂高 隆

『いのちが危ない!』  
江原 啓之 著 147工  
2005.04 出版



コロナ禍で自殺者増が危惧される今。生きる価値について考えてみませんか？

ペンネーム ケリー



# 映画上映会のお知らせ

入場無料  
申し込み不要

**「ロストワールド ジュラシックパーク」**  
 1997年・アメリカ 129分・吹替  
 ■監督 スティーヴン・スピルバーグ 監督  
 ■出演 イアン・マルコム 他 出演  
 ■日時 8月20日(金) 14:00~16:10  
 8月21日(土) 15:00~17:10  
 ■場所 中央図書館 視聴覚ホール

極秘に作られた生きて恐竜のテーマパーク“ジュラシックパーク”。パーク閉鎖後、恐竜たちは滅びることなく、繁殖を続けていた。生態調査を依頼された数学者イアンは、その危険性から拒否するが、恋人の古生物学者サラがすでに調査に向かったことを知り、仕方なくパークへと向かった…。

## 図書館カレンダー 8月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休	3 休	4	5	6	7
8	9	10 休	11	12	13	14
15	16 休	17	18	19	20	21
22	23 休	24	25	26	27	28
29	30 休	31 休				

### 中央図書館

★丹波年輪の里「絵手紙展」(展示ホール)

6(金)~13(金)

★丹波書道教室 作品展示

25(水)~9/7(火)

★真夏のおはなし会 (夜の図書館第7夜)

20(金)19:00~ (視聴覚ホール)



### アンケートにご協力ください

図書館のご利用状況やご意見をお聴かせください。

中央図書館は、令和4年度から10年間の「第2次丹波篠山市立中央図書館ビジョン」の策定を進めています。市民の皆様の図書館サービスのご利用状況や、図書館に対するご意見・ご要望などをビジョン策定の参考にさせていただきたいので、アンケートにご協力ください。

★対象: 市民

★実施期間: 8月1日(日)~14日(土)

★設置場所: 中央図書館、丹波篠山市立市民センター図書コーナー、市役所、支所、ほか



### 本が嫌いなモノ

食べ物、飲み物、匂い(タバコ・香水)、雨

食べながら、飲みながら、タバコを吸いながら…。ながら読書はやめましょう。

